

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	【●●地震】地震で土砂に埋没した家屋内で救出活動中、余震が発生した事案
3. 体験した事例の中心的要素	土砂に埋没した家屋内で救出活動中、余震を感じたため、屋外に一時退避したものであり、余震の規模によっては家屋が倒壊し、負傷・死亡につながる恐れがあった。また、事前に設定していた地震警報器は揺れを感知しなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	・大規模地震における救助活動 ・単隊での活動 ・地震警報器の過信

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等)
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成30年9月6日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋内:土砂により1階の一部が埋没した家屋の寝室付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	崩壊・倒壊(に巻き込まれる)
7. 事例体験時の活動	その他:地震災害
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[45]歳、勤続年数[27]年、現場経験年数[27] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[14] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [その他:副隊長]
○当事者C	年齢[35]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D:32歳、消防士長、勤続15年、現場経験15年、隊員 当事者E:31歳、消防士長、勤続12年、現場経験12年、隊員 当事者F:33歳、消防士長、勤続10年、現場経験10年、隊員 当事者G:21歳、消防士長、勤続12年、現場経験12年、機関員

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者全員	建物の状況確認、地震警報器の設定、周囲の安全確認を行った	
経過2	当事者全員	建物内部に埋没した要救助者を発見した	
経過3	当事者全員	緊急時の退避動線を確認した	
経過4	当事者F	屋外で安全管理中、揺れを感じ、警笛により退避の合図をした	
経過5	当事者BCDEG	屋内で救出活動中、揺れを感じたため直近の窓から退避した	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた 危険事象の対応方法を知っていた 避難退避がうまくいった 後方からの監視の目が行き届いていた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭い場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が濡れたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

2階建て一般住宅1階の一部が土砂で埋没

